

●参考資料3 カワウの卵の測定結果

2024年度のモニタリング調査においてPCB類、HCB、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）、ペルフルオロオクタン酸（PFOA）、ペンタクロロベンゼン、短鎖塩素化パラフィン類、ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）、メトキシクロル、デクロランプラス類及びUV-328の10物質（群）について、カワウの卵を対象に調査を実施した。山梨県水産技術センターにより笛吹川豊積橋上流左岸（中央市）において、兵庫県環境部水大気課及び伊丹市都市交通部みどり自然課により昆陽池においてそれぞれカワウの卵を採取し、卵黄と卵白をそれぞれ検体として対象物質濃度の測定を行った。試料採取地点については図1に、検体の概要については表1に、測定結果については表2に示すとおりである。

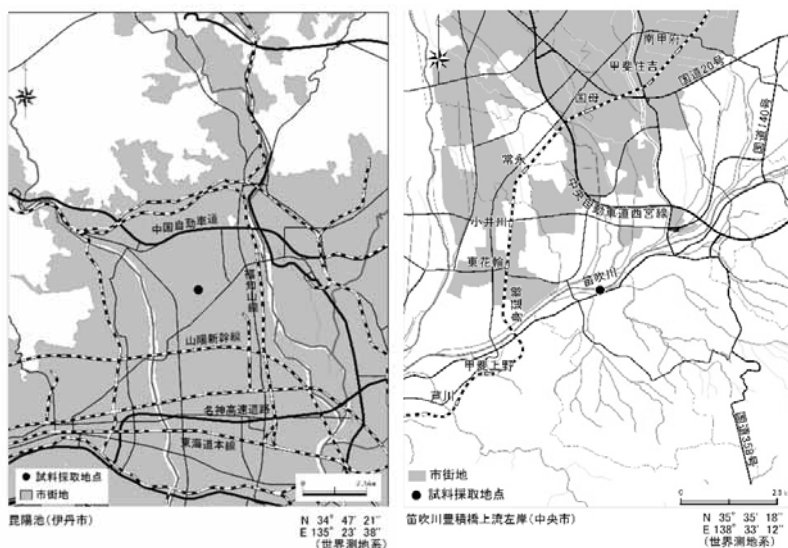


図1 カワウの卵採取地点

表1 2024年度モニタリング調査（生物 カワウの卵）検体の概要

調査地点	検体番号	採取年月	個体数	卵高 (cm) × 卵径 (cm) () 内は算術平均値	重量 (g) () 内は算術平均値
笛吹川豊積橋上流左岸 (中央市)	1	2024年5月2日	9	5.5 × 3.4 ~ 6.2 × 4.0 (5.8 × 3.7)	35.7 ~ 51.3 (43.7)
昆陽池 (伊丹市)	1	2024年4月16日	17	5.2 × 3.6 ~ 6.5 × 4.1 (5.8 × 3.8)	38.2 ~ 55.5 (45.7)
	2	及び18日	19	5.4 × 3.6 ~ 6.5 × 4.0 (5.7 × 3.8)	37.4 ~ 54.0 (43.7)

表2 カワウの卵の測定結果

単位：pg/g-wet

物質 調査 番号	調査対象物質	定量[検出] 下限値	カワウの卵				カワウの成鳥 ^{注2)}	
			笛吹川豊積橋上流左岸 (中央市)		昆陽池 (伊丹市)		琵琶湖北湖 竹生島	天神川 (倉吉市)
			卵白	卵黄	卵白	卵黄		
[1]	総 PCB ^{注1)}	21 [8]	2,000	3,600,000	10,000	17,000,000	910,000	46,000
[2]	HCB	1.2 [0.4]	53	47,000	57	79,000	4,400	3,000
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	6 [3]	61	59,000	270	130,000	36,000	1,200
[16]	ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	8 [3]	tr(5)	2,000	15	1,800	930	100
[17]	ペンタクロロベンゼン	1.0 [0.4]	3.6	4,400	24	38,000	520	280
	短鎖塩素化パラフィン類							
[23]	[23-1] 塩素化デカン類	400 [200]	nd	2,000	nd	1,700	tr(200)	nd
	[23-2] 塩素化ウンデカン類	700 [300]	nd	3,700	nd	2,000	tr(320)	tr(590)
	[23-3] 塩素化ドデカン類	800 [300]	nd	3,900	nd	2,900	tr(360)	tr(660)
	[23-4] 塩素化トリデカン類	800 [300]	nd	5,100	nd	4,100	tr(540)	1,100
[25]	ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	7 [3]	tr(4)	1,900	17	2,700	180	94
[26]	メトキシクロル	10 [4]	nd	nd	nd	nd	nd	nd
	デクロランプラス類							
[27]	[27-1] <i>Anti</i> -デクロランプラス	2.0 [0.8]	nd	1,600	nd	1,300	160	16
	[27-2] <i>Syn</i> -デクロランプラス	1.2 [0.5]	nd	1,000	nd	1,200	100	7.3
[28]	UV-328	20 [6]	tr(8)	5,100	tr(10)	4,500	230	36

(注1) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。

(注2) 本編において既出であるが、カワウの卵からの成長段階の参考として再掲載した。